

2010年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社 エヌアイデイ
2009年11月24日

■ はじめに

・会社概要、NIDグループ

1. 2010年3月期第2四半期業績について
2. 2010年3月期通期業績予想
3. 2010年3月期下期の重点施策
4. 事業戦略

■ 巻末資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。



- はじめに
 - ・ 会社概要、NIDグループ

社 名	株式会社エヌアイデイ (英社名 : Nippon Information Development Co.,Ltd)
本店営業所	新宿区西新宿7-6-4 TEL03-3365-2621
設 立	1967年(昭和42年)5月
資 本 金	6億5,335万円(平成21年9月末現在)
事 業 内 容	システム開発、情報処理サービス
社 員 数	962名、(NIDグループ:1,477名)(平成21年9月末現在)
発行済株式数	4,369,830株
株 主 数	615名(平成21年9月末現在)
	2003年1月 JASDAQ上場(証券コード 2349) 2007年9月 社団法人日本経済団体連合会(経団連)入会

	所在地	資本金	売上高 (2009年3月期)	社員数	事業セグメント
(株)エヌアイデイ	東京都新宿区	6億53百万円	117億92百万円	962名	システム開発事業 情報処理サービス事業
連結子会社3社					
(株)NID-IS	千葉県船橋市	30百万円	31億63百万円	309名	システム開発事業 情報処理サービス事業
(株)NID東北	仙台市宮城野区	30百万円	9億4百万円	77名	システム開発事業
(株)NID-IE	東京都新宿区	30百万円	19億17百万円	129名	システム開発事業 情報処理サービス事業

(社員数:2009年9月末現在)



NID-IE社



NID本社

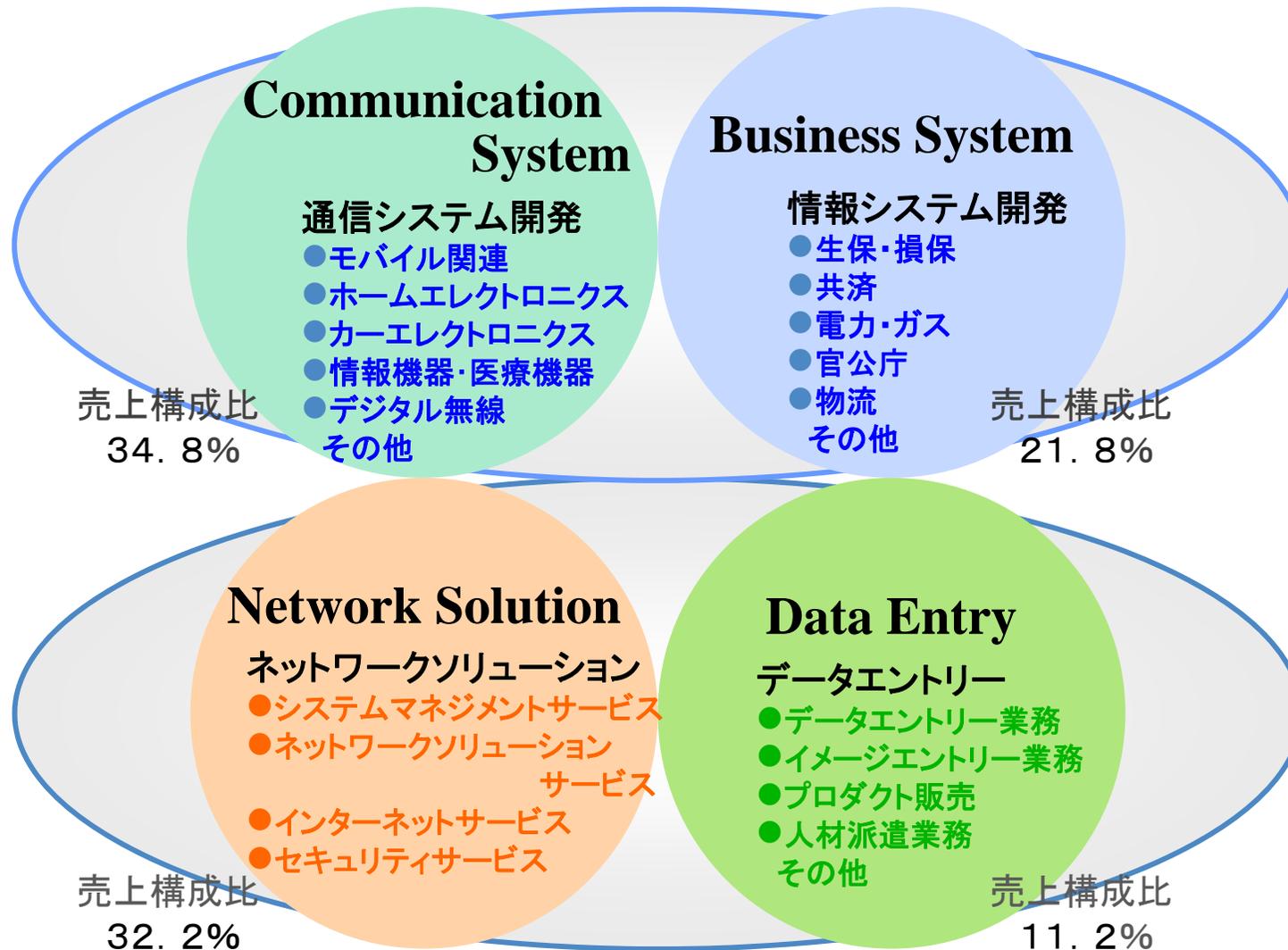


NID-IS社



NID東北社

システム開発



情報処理サービス

2009年9月末現在



1. 2010年3月期 第2四半期業績について

2010年3月期第2四半期決算の概況(連結)



(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計 (4~9月実績)	2010年3月期 第2Q累計 (4~9月実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,698	7,077	△620	△8.1%
売上総利益	1,360	1,230	△130	△9.6%
営業利益	438	352	△86	△19.7%
経常利益	447	353	△94	△21.0%
四半期純利益	244	202	△42	△17.3%
総資産額	9,453	9,946	+492	+5.2%
株主資本	5,130	5,508	+378	+7.3%
1株当り四半期純利益	64.70円	53.48円	---	---
1株当り株主資本	1,355.17円	1,455.08円	---	---

対前年同期増減の 主な内容

<売上高>

システム開発事業
△約4億5千万円
情報処理サービス
△約1億7千万円

- 通信システム開発で苦戦

<経常利益>

- 売上高減少に伴う影響
稼働率低下に伴う影響

<総資産額>

- 現預金 +3億9千万円

<自己資本>

- 利益剰余金 +3億7千万円

注)すべて百万円未満は切り捨てて表示しています。

貸借対照表・キャッシュ・フロー(連結)



(単位:百万円)

連結貸借対照表	2009年3月期	2010年3月期 第2Q	前期比 増減額	増減の主な内容
流動資産合計	7,240	7,485	+245	有価証券の振替300百万円
固定資産合計	2,719	2,460	△259	有価証券の振替△300百万円
資産合計	9,960	9,946	△14	
負債合計	4,487	4,438	△49	
純資産合計	5,473	5,508	+35	
負債純資産合計	9,960	9,946	△14	

キャッシュ・フローの状況	2010年3月期 第2Q累計 (4~9月実績)	増減の主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	330	税前利益343百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	無形資産取得△71百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172	配当金支払額△170百万円
現金及び現金同等物期末残高	3,900	

セグメント別売上・営業利益実績



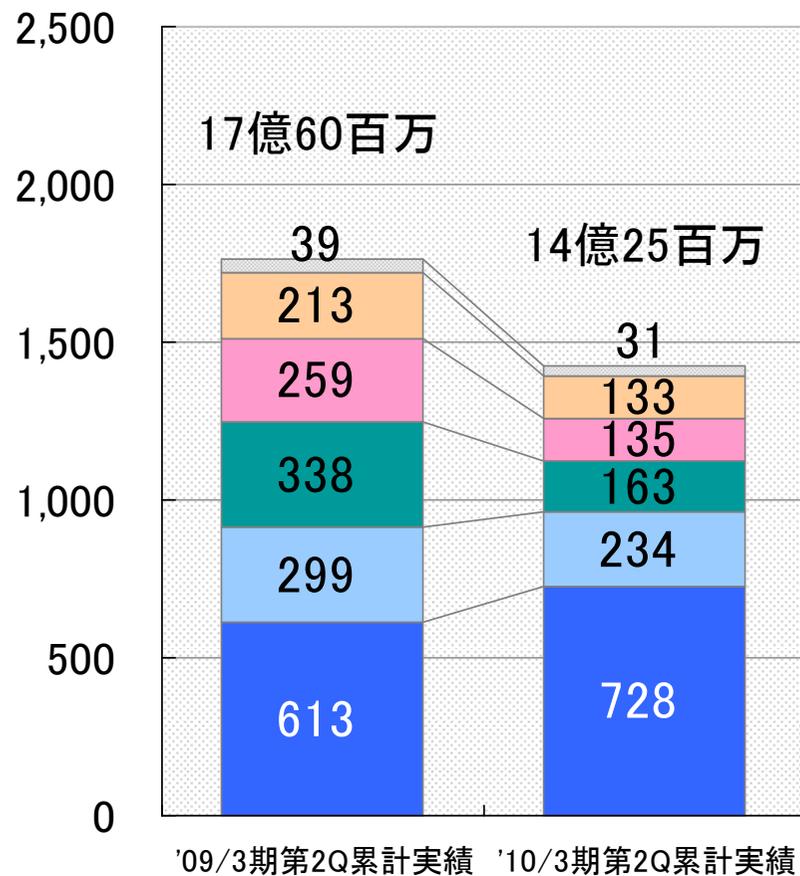
(単位:百万円)

		2009年3月期 第2Q累計 (4~9月実績)	構 成 比	2010年3月期 第2Q累計 (4~9月実績)	構 成 比	前年同期比
売上高		7,698	100.0%	7,077	100.0%	△8.1%
内 訳	システム開発事業	4,454	57.9%	4,007	56.6%	△10.0%
	情報処理サービス 事業	3,244	42.1%	3,069	43.4%	△5.4%
営業利益		438	100.0%	352	100.0%	△19.7%
内 訳	システム開発事業	277	63.2%	182	51.8%	△34.2%
	情報処理サービス 事業	161	36.8%	169	48.2%	+5.1%

事業部別分野別及び業種別売上高①



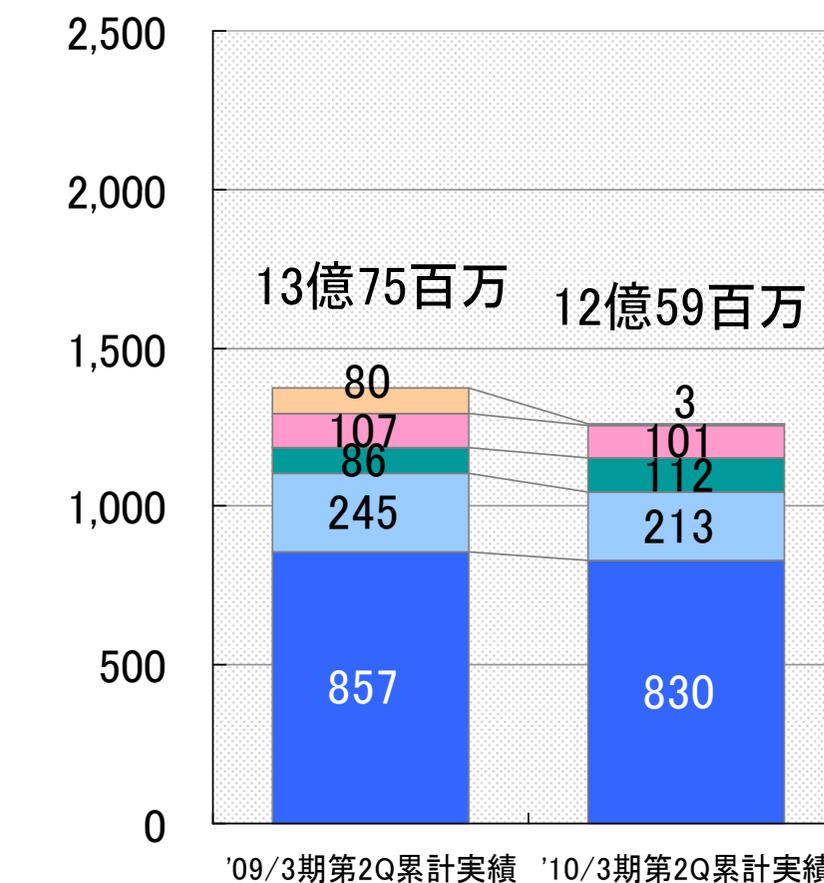
NID通信システム事業部
分野別売上高構成
(百万円)



- モバイル関連
- 情報機器・医療機器
- カーエレクトロニクス
- デジタル無線
- ホームエレクトロニクス
- その他通信システム

モバイル関連は堅調。カーエレクトロニクス、デジタル無線、ホームエレクトロニクスは苦戦(対前年同期比△19.0%減)

NID情報システム事業部
分野別売上高構成
(百万円)



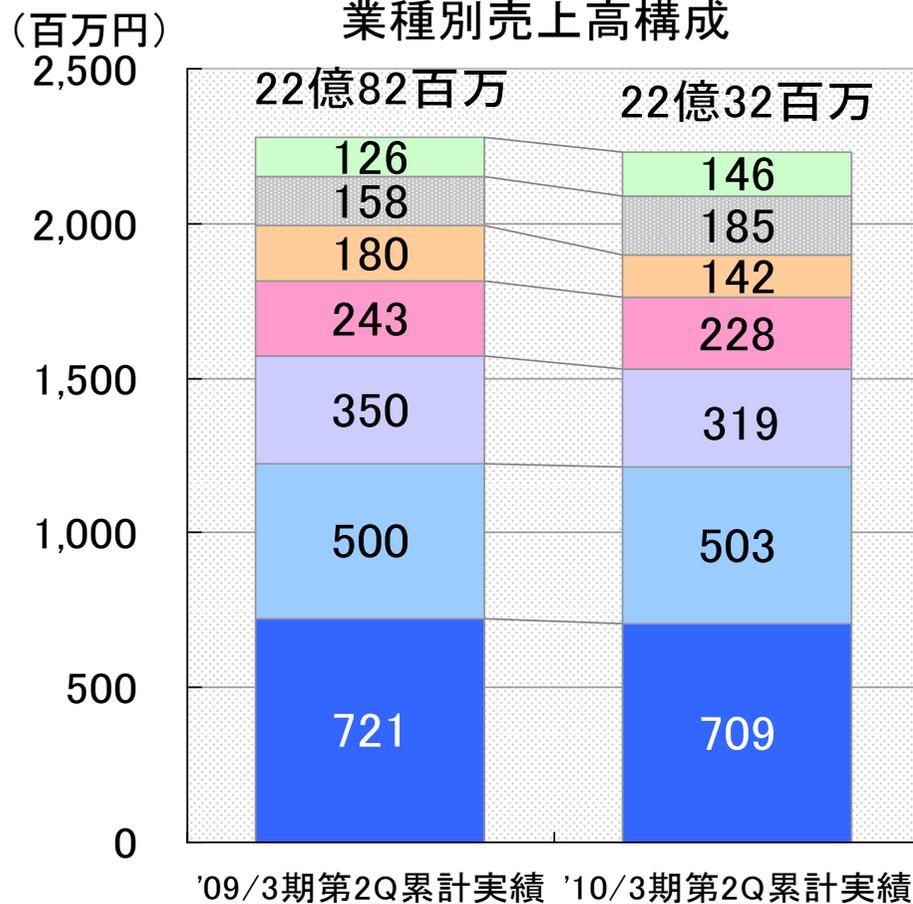
- 生保・損保
- 流通・製造
- 官公庁
- その他
- 証券

生損保、共済システム開発及び官公庁は継続受注で堅調。証券、流通・製造分野は苦戦(対前年同期比△8.5%減)

事業部別分野別及び業種別売上高②



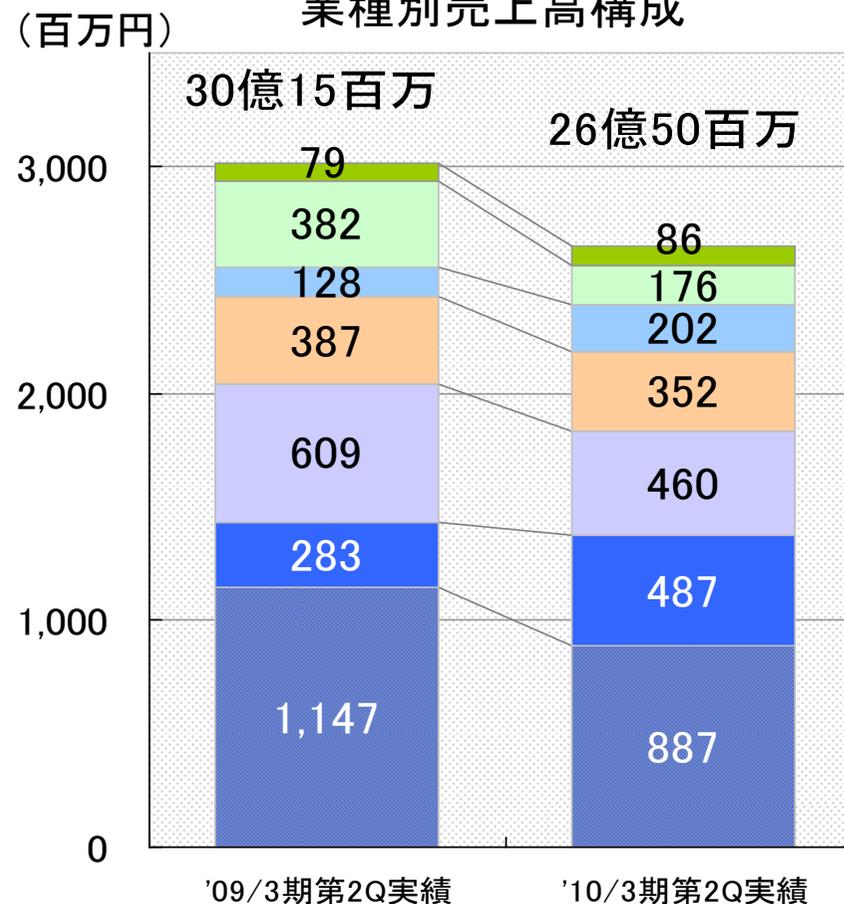
NIDネットワークソリューション事業部
業種別売上高構成



- 運輸・通信業
- 金融・保険業
- 製造業
- 卸売・小売業
- 情報処理業
- サービス業
- 官公庁・団体

運輸通信業、金融・保険業、サービス業向けでシステム運用管理業務が堅調に推移(対前年同期比△2.2%減)

関連会社3社
業種別売上高構成



- NID-G内部売上
- 電力・ガス業
- 製造業
- 金融・保険業
- 官公庁・団体
- 情報処理業
- その他

電力・ガス業、官公庁・団体は好調、その他の業種で苦戦(前年度比△22.7%減)

■ バランス経営の効果

- 通信システム事業部は厳しい受注環境が継続
- 情報システム事業部、ネットワークソリューション事業部、NID東北は順調
- NID・ISはやや苦戦

グループ全体としては、不況の影響は比較的軽微



2. 2010年3月期通期業績予想

2010年3月期通期業績予想(連結)



(単位:百万円)

	2009年3月期 (実績)	2010/3月期 (当初予想)	2010/3月期 (修正予想)	当初 予想比	前年 同期比
売上高	15,578	16,000	15,000	△6.3%	△3.7%
売上総利益	2,880	2,922	2,646	△9.5%	△8.1%
営業利益	1,071	1,090	890	△18.4%	△16.9%
経常利益	1,084	1,100	900	△18.2%	△17.0%
当期純利益	585	650	576	△11.4%	△1.7%
1株当り 当期純利益	154.76円	171.70円	152.16円		

- ・情報処理サービス系と情報システム開発系に対する影響は少ないと予想。
しかし、特に通信システム開発系の受注回復が遅れ、売上高の減少及びそれに伴うSEの稼働率低下により収益に影響することが懸念されるため、通期予想を修正。
- ・本年10月、適格退職年金より確定拠出年金に移行。

セグメント別売上・営業利益予想(対前年)



(単位:百万円)

		2009年3月期 実績	2010年3月期 当初予想	2010年3月期 修正予想	前年同期比
売上高		15,578	16,000	15,000	△3.7%
内 訳	システム開発事業	9,075	9,400	8,487	△6.5%
	情報処理サービス事業	6,503	6,600	6,513	+0.2%
営業利益		1,071	1,090	890	△17.0%
内 訳	システム開発事業	661	690	500	△24.4%
	情報処理サービス事業	410	400	390	△4.9%



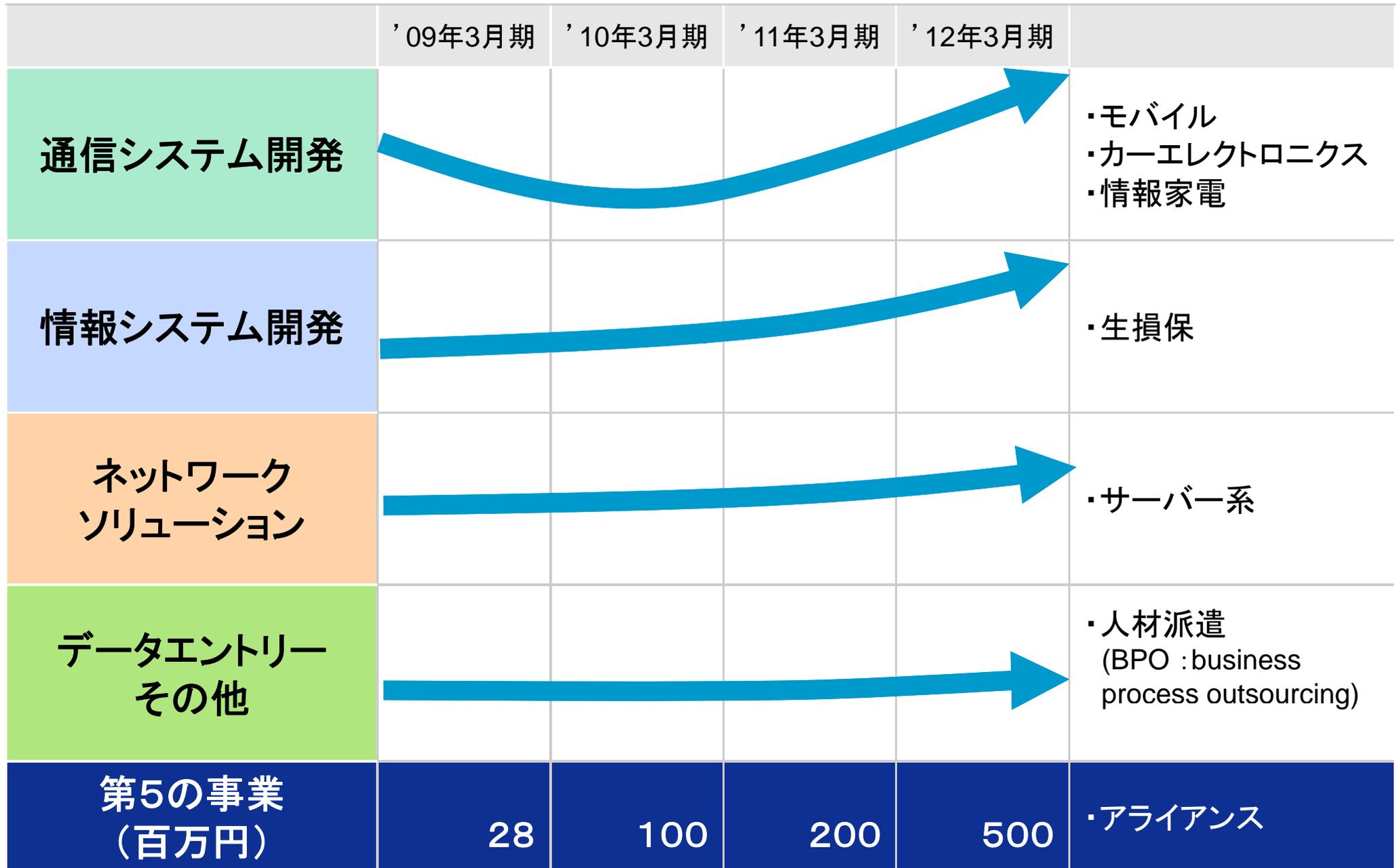
3. 2010年3月期下期の重点施策

- 既存ユーザーのフォローアップと新規ユーザー確保
 - ▶ 特に通信システム開発事業の営業に注力
 - 徹底した現場営業による顧客アプローチ強化
- 徹底したコスト管理（ローコスト体質）
- 不良プロジェクトの撲滅
- 専門技術者育成への投資
- 第5の事業への積極的投資



4. 事業戦略

業績トレンド



■ 戦略的営業活動

▶ プロダクト製品をツールとした営業活動

▶ アライアンスパートナーとの連携営業

▶ 地方自治体への積極的な営業

■ 第5の事業 体制強化

▶ パートナーとの協業ビジネス

- ・ アクロディア社との携帯電話関連のプログラム共同開発
- ・ インフォニックス社のMVNO事業との協業
- ・ カオスウェア社との携帯電話向け暗号化用ツールの販売

▶ iPhone向けアプリケーション開発



GPS-R
(ナビゲーション)



Ki-Ri-e
(切絵)



ToyMode
(幼児向け)



カメレ音
(音で楽しむ)



Happy Darts
(ダーツ)



Touch 'n Sort
(文字並べ)

▶ 既存プロダクト製品の拡販



特定保健指導支援ソフトウェア
「MiEL(ミエル)」



携帯端末自働評価システム
「E-stas(エスタス)」



RFIDによる資産管理
台帳・連携システム
「RF棚卸くん」



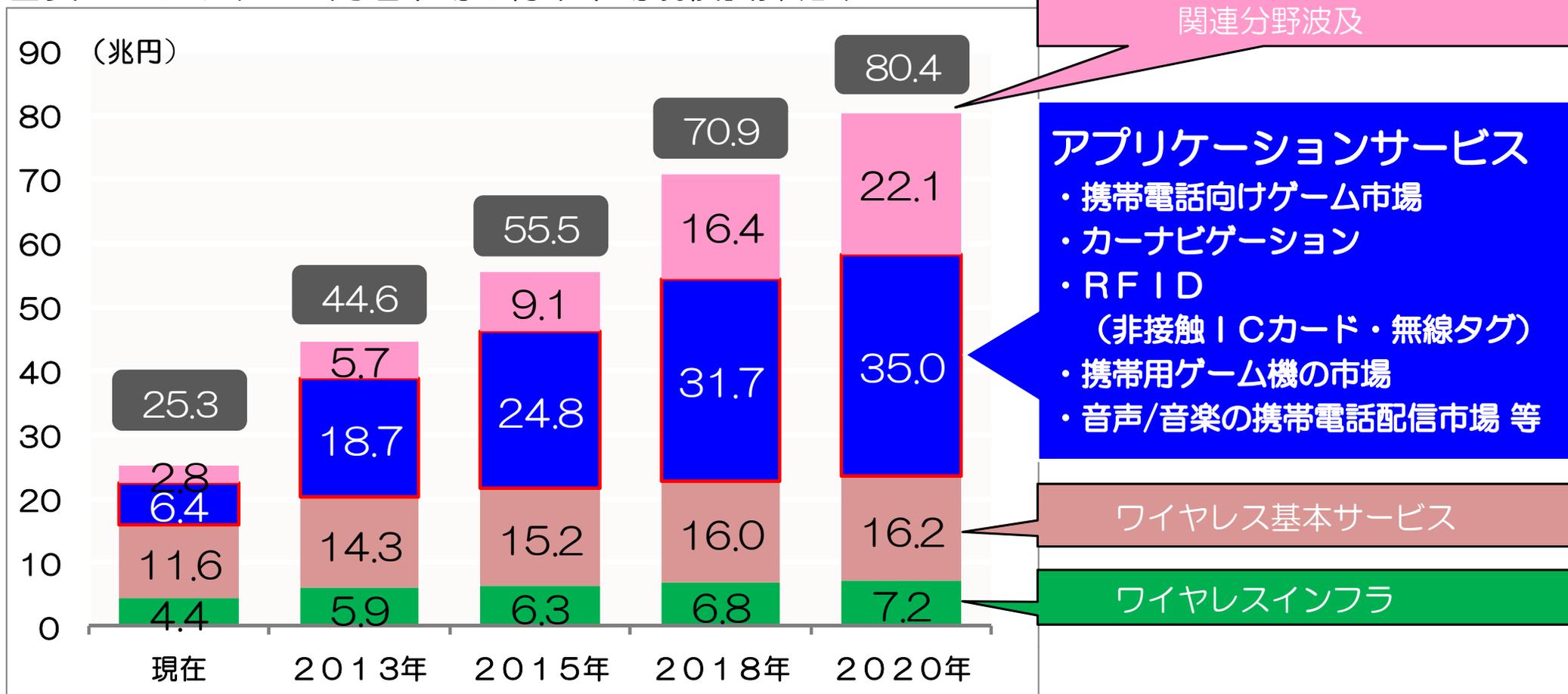
社内基幹システム
の外販

● スーパークリエイータの育成・確保

● 「2020年に50兆円規模のワイヤレス関連市場を創出」

(「電波新産業創出戦略」総務省電波政策懇談会より)

図表1 ワイヤレス関連市場の将来市場規模試算結果



出展:総務省「電波新産業創出戦略」平成21年7月電波政策懇談会

得意技へのこだわり

高い専門性を追求する

品質へのこだわり

常に技術に磨きをかける

基本へのこだわり

事業に軌軸をもつ

技術力(企業価値) = 品質(顧客満足度)

専門店経営でユーザー価値を満足させる
ベスト・パートナーに！！

■ 株主還元策

- 配当 各期の業績、将来の事業展開、配当性向等を勘案し、
安定した配当を継続していきます。

2009年3月期(第42期)配当金 **45**円

■ 目標とする経営指標

- 売上高経常利益率 **10%**
- 株主資本当期純利益率(ROE) **15%**

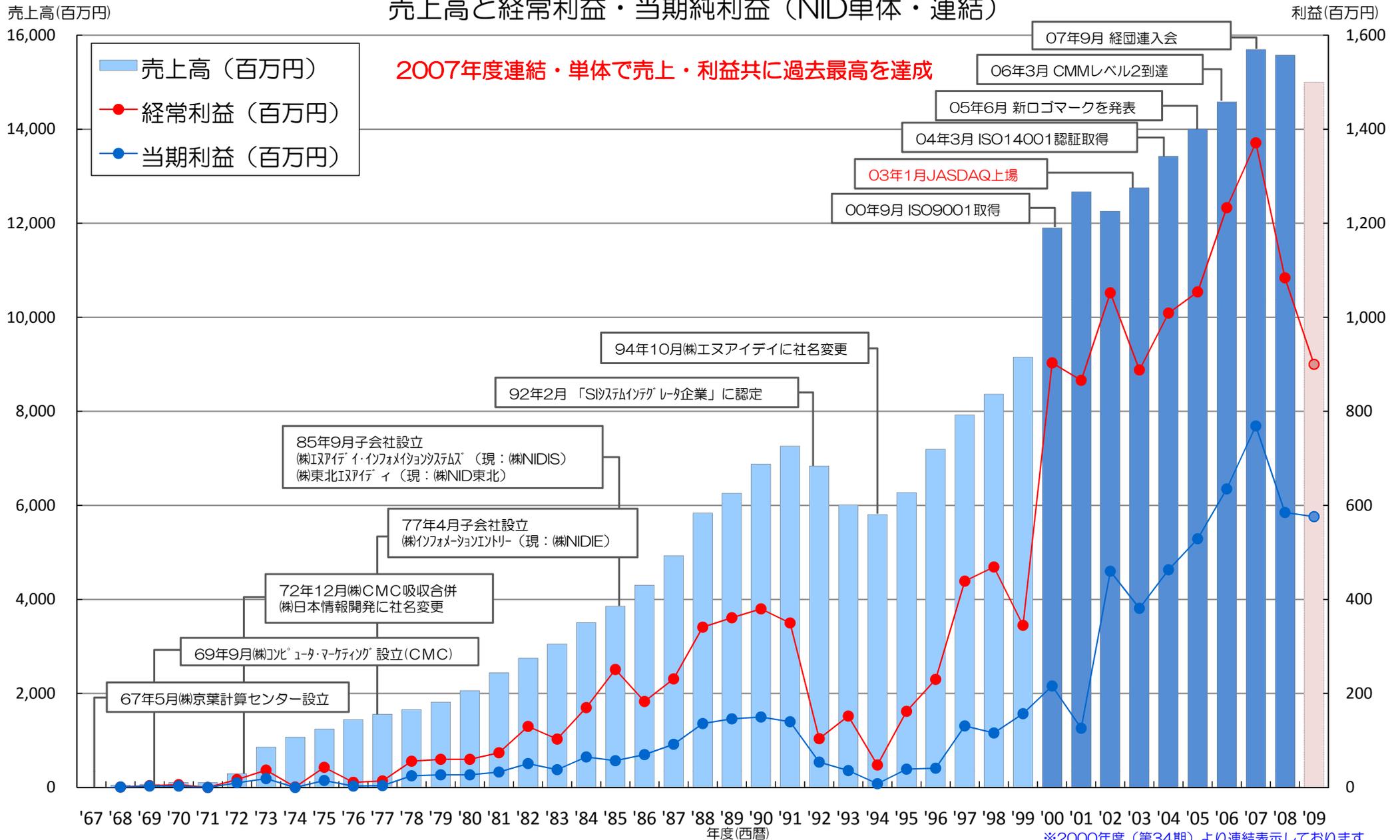


<http://www.nid.co.jp>



■ 卷末資料

売上高と経常利益・当期純利益 (NID単体・連結)



iPhone向けアプリケーション開発



製品名		11/18 時点 累計実績 販売本数	ダウンロード数 国別トップ3		
	GPS-R 07.11.13~	74,909	日本	19,310	その他ロシア、スペイン、 ブラジル、イギリス、トルコ、 イタリア、ドイツ等
			アメリカ	11,638	
			フランス	8,771	
	GPS-R Android版 09.04.13~	8,344	※国別情報は取得できませんので、悪しからずご了承を お願いいたします。		
	Ki-Ri-e 08.12.20~	447	アメリカ	227	その他ドイツ、カナダ、 フランス、イタリア、 オーストラリア、ロシア等
			日本	121	
			イギリス	19	
	Ki-Ri-e lite 08.12.20~ 09.07.01	19,557	アメリカ	8,052	その他イギリス、フランス、 ロシア、メキシコ、 イタリア等
			日本	2,638	
			カナダ	1,191	
	ToyMode 09.03.29~	1,410	日本	1,200	その他ブラジル、 オーストラリア、カナダ、 フランス、スイス、中国、 イタリア等
			アメリカ	136	
			イギリス	12	
	カメレ音 09.04.27~	94	日本	70	その他ドイツ、フランス、 イギリス、カナダ、イタリア、 オランダ等
			アメリカ	13	
			オーストラリア	2	
	Happy Darts 09.09.20~	173	日本	121	その他イギリス、フランス、 イタリア、ルクセンブルク、 メキシコ等
			アメリカ	27	
			ドイツ	5	
	Touch'n Sort 09.11.06~	24	日本	18	
			アメリカ	5	
			オーストラリア	1	

用語

携帯電話自動評価システム	評価指示(シナリオ)に従い、携帯電話のボタンを自動的に操作し、その結果データを自動収集、予め用意しておいた期待画像などと比較し、自動的に成否の判定を実現するもの。
プロトコルスタック	ネットワーク上で、ある機能を実現するために必要なプロトコル(通信手順)を選び、階層状に積み上げたソフトウェア群。
エンベデッド(Embedded)	デジタルTV、DVD(Digital Versatile Disk)、PDP(Plasma Display Panel)などの情報家電から携帯電話、携帯端末(PDA: Personal Digital Assistance)、車載システムなどに組み込むソフトウェアの総称。
情報家電 (ホームエレクトロニクス)	情報通信機能を組み込み、高機能化・ネットワーク化した家電製品のこと。デジタルTVなどのAV機器や、家庭用ゲーム機などをはじめ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機といった白物家電も情報家電への進化が期待される。
ユビキタス(ubiquitous)	ユビキタスの語源はラテン語で、いたるところに存在する(遍在)という意味。インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、どこからでもアクセスできる環境を指し、ユビキタスが普及すると、場所にとらわれない働き方や娯楽が実現出来るようになる。「ユビキタス・コンピューティング」、「ユビキタス・ネットワーク社会」のようにも使われることもある。
組込みLinux	サーバOSとして注目されているLinuxですが、組込み機器におけるOSとしてもLinuxが急速に採用されてきている。他のOSに比べ、低い性能のコンピュータでも軽快に動作し、ネットワーク機能やセキュリティに優れている。
3GPP(3rd Generation Partnership Project)	第3世代(3G)移動体通信システムの標準化プロジェクト。また、同プロジェクトによる移動体通信システムの標準規格。
Bluetooth	Ericsson社、IBM社、Intel社、Nokia社、東芝の5社が中心となって提唱している携帯情報機器向けの無線通信技術。
WiMAX (IEEE802. 16a)	2003年1月にIEEE(米国電気電子学会)で承認された、固定無線通信の標準規格。IEEE802.16規格は10~66GHzの周波数帯を使用していたが、802.16a規格では2~11GHzを利用するよう改められている。通信速度や最大距離は変わらず、1台のアンテナで半径約50kmをカバーし、最大で70Mbpsの通信が可能。
テレマティクス	通信(テレコミュニケーション)と情報処理(インフォマティクス)を組み合わせた造語で、自動車向けの次世代情報提供サービスをいう。主なテレマティクスサービスとしては、トヨタ【G-BOOK】、日産【カーウイングス】、ホンダ【インターナビ・プレミアムクラブ】などがある。
Symbian OS	エリクソン社、モトローラ社、ノキア社、松下電器産業などの携帯電話メーカーが出資する英シンビアン社が提唱している携帯端末向けのOS。
CMM(Capability Maturity Model)	ソフトウェアの開発能力を客観的に示す品質管理基準のこと。
ITS (Intelligent Transport System)	高度道路交通システム。最先端の情報通信技術を利用して、ナビゲーションシステムの高度化、将来の自動運転を目標とした安全運転の支援、有料道路でのノンストップ自動料金支払システム等により交通の安全や効率性の向上を実現。
NGN(next Generation Network)	電話や映像配信等多様なサービスを次世代通信インフラとしてIP網にて提供する次世代ネットワーク。
3. 9G	100Mbpsのデータ伝送が可能な移動通信システム。Super3Gとも言われ、3. 5Gの先にあるものを言う。
MVNO(Mobile Virtual Network Operator)	仮想移動体通信事業者。携帯電話やPHSの通信事業者からネットワーク設備を借り受けて、自分のブランドでサービスを提供する移動体通信事業者のことである。日本通信 b-mobile (ビーモバイル)、価格比較サイトを展開するECナビ等